

主な記事

日置市住宅マスタープランを策定しました …… 2
パブリックコメント手続・地区対抗女子駅伝 …… 4
日置市消防出初め式 …… 5
消防だより …… 6
まちの話題 …… 8
市民の広場 …… 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

とびおと

HIOKI JOURNAL FEB.2007



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	52,873人	(6)
男	24,690人	(7)
女	28,183人	(13)
世帯数	22,282	(25)
2月1日現在()は前月比		

市の面積 253.05km²

今月の紙



市中央公民館で行われたミニ科学の祭典。会場にはたくさん子ども達が集まり、15の実験コーナーにチャレンジ。真剣に取り組む姿はまるで小さな科学者のようでした。(ミニ科学の祭典 P10関連記事)

21 平成19年2月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899 2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099(273)2111
FAX 099(273)3063
東市来支所
TEL 099(274)2111
日吉支所
TEL 099(292)2111
吹上支所
TEL 099(296)2111
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

わが地域

下草田自治会(吹上地域)

地域一体となった活動で明るく住みよい地域づくり



▲左から畠中達男会長、徳重政博さん

吹上地域永吉地区を形成する自治会の一つで、国道二七〇号線沿いに位置する下草田自治会。平成十九年二月現在で七十七世帯、百六十九人が暮らしています。集落は少子高齢化が進んでいますが、住民の融和と親睦を図るため、自治会一体となった活動に取り組み、明るく住みよい地域づくりを目指しています。



▲出初式で行進する婦人防火クラブ

自治会活動は、運営委員、青壮年部、婦人部、体育部、親子会、産業部を中心に、協力して活動しています。特に女性が元気の地域で、婦人部では婦人防火クラブを組織し、旧吹上町の消防出初式への参加や消防本部の防火・防災研修を受講するなど、女性が積極的に参加する防災活動に取り組んでいます。また、地域で盛んなスポーツであるグラウンドゴルフでは、自治会で同好会を組織。市として合併してからこれまでに二回開催されてい

る日置市婦人部グラウンドゴルフ大会では、団体・個人とも二年連続優勝を果たしました。青竹会は婦人部が主催する地域内の美化活動や災害の未然防止活動を行う組織。住民全員参加で地域内の清掃や枝払い、除草作業を実施しています。自治会には一人暮らしの高齢者もあり、沿道にはみ出した枝を払うなど一人ではできないこともあり危ないことから、自治会全体で協力しあう青竹会の清掃・美化活動を行っています。永吉地区のイベント「永吉筏下り」。青壮年部を中心に筏づくりや地域おこしの標語作成等を共同作業で行うことにより、地域内の連帯感や親睦を図っています。クリスマスシーズンから新年にかけて行われる冬の風物詩「冬のイルミネーション」。青



▲皆で作った筏で筏くさり



▲「青竹会」で地域の美化活動

壮年部長の他、地域の有志によって平成八年から始まったのがきっかけで、今では住民総出で準備をする地域行事となっています。「現在、自治会の合併や集落営農、少子高齢化など自治会を取り巻く問題は山積み。しかし、地域の活性化、生きがいづくりを推進するために青壮年部を中心に力を入れ、誰もがここに住んで良かったと思える自治会、明るく住みよい地域づくりを目指します」

編集たいむ

「いきいき」で紹介した木場さん。本の読み聞かせを通じて子ども達とふれあい、心に残る作品の提供と子ども達の感性を育む活動を行っています。朝の本読み会を取材させてもらった時には、木場さんが本の真をめぐるたび、子ども達は笑ったり見入ったり。いろんな表情を見ることができました。▼市では日置市ミニ科学の祭典が行われ、会場はたくさん親子連れでにぎわいました。子ども達は十五の科学実験の前に「なぜ?どうして?」と不思議そうな顔をしながら目を輝かせながらチャレンジ。空中で回転する「コマ」コーナーでは、磁石の上で回す「コマ」の重さやバランスを考えながら、何回失敗しても夢中になって取り組んでいる姿が印象的でした。何かに夢中になって取り組んだ事はきっと子ども達の心に残る思い出になっていることでしょう。▼心に残る思い出は、これから大人になっていく子ども達にとって将来の夢に繋がったり、生きる勇気を与えてくれたりすると思います。ミニ科学の祭典に参加した子ども達の中から世界的な科学者が誕生するかもしれない...と思つと将来が少し楽しみです。 ㊦

平成19年度から28年度までを計画期間と

市では、総合的な住宅政策の指針として、平成十九年度から二十八年度までを計画期間とする「日置市住宅マスタープラン」を策定しました。

この計画は、本市の住宅政策の指針となるものであり第一次日置市総合計画を補完するもので、市民アンケート、民間事業者ヒアリング、策定委員会、策定幹事会等を経て策定したものです。

策定の背景と目的

本市の住宅・住環境においては、住宅の老朽化、高齢化、人口流出、空家の増加等の課題が存在します。これらの課題を整理し、総合的な住宅政策の基本方針を定めることが必要です。また、国や県の住宅政策は、従来の公共賃貸住宅の供給を中心とした住宅政策から、その施策対象を住宅市場全般に広げる方向に転換しつつあります。本市においてもこのような潮流を踏まえ、豊かな住生活の実現を図るため、住生活の安定の確保および向上の促進について国の住宅政策の基本方向を示す新たな法制として施行された「住生活基本法」に基づき、住宅施策の総合的かつ計画的な推進を図っていく必要があります。

このような背景から、豊かさを実感できる住環境の実現のために、「美しい自然

輝く未来 住んでみたい安心で安全なまち 日置市」を基本理念として、より幅広い視点にたった住宅政策の指針と基本目標、そして施策展開の基本的方向等を総合的かつ体系的に定めています。

基本方針

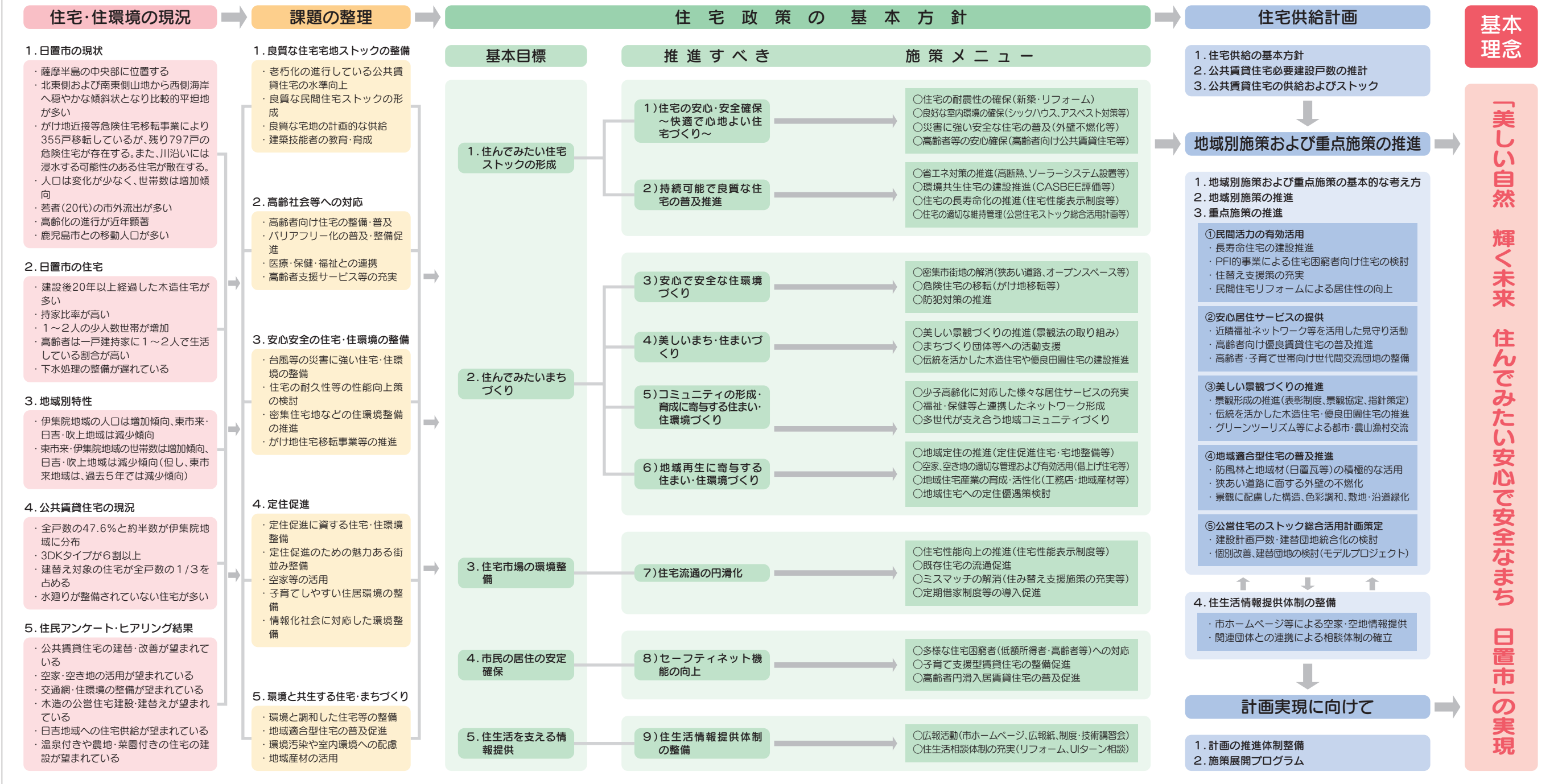
本市の活性化のためには、人口の定住を促進する住宅供給・生活基盤の整備が大きな役割を占め、高齢化の進行に対しても良質な住宅・福祉サービスの充実等、十分な対策が求められています。さらに、本市の豊かな自然・歴史資源を保全しながら、住環境整備を進めていくことも重要です。

これらの課題に対応し「住宅・住環境の改善、少子・高齢化社会への対応、定住促進、自然環境との共生、まちづくりと連携した住宅・宅地の供給促進、既存公共賃貸住宅のストック活用等に積極的に対処し、目指すべき住生活像を実現するため、施策を総合的かつ計画的に推進していきます。

計画実現に向けて

本計画の実現・展開には市民・民間事業者・行政および福祉関連団体等との連携や協力・支援が不可欠となります。このため、「豊かな住生活の実現」に向けて、推進体制を確立し、よりよい住宅・まちづくりを進める必要があります。今後は、市民・行政が相互の理解のもとで、市民自らが主体の住まいづくり・まちづくりを推進できるように、その体制作りを努めます。

日置市住宅マスタープラン ～住宅政策のフロー～



パブリックコメント手続を導入しました

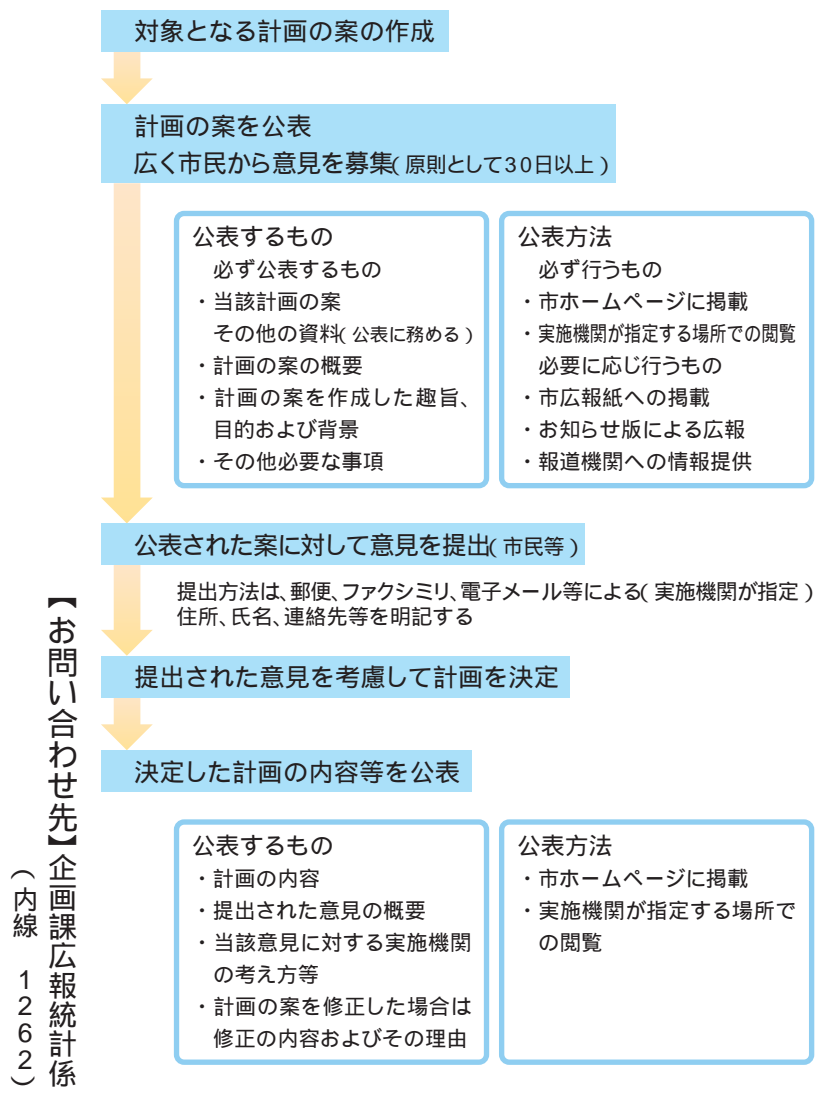
市では、市民との協働による開かれた市政推進の一環として、パブリックコメント手続を導入しました。

パブリックコメント手続とは、市の基本的な政策や制度を定める計画や条例などを策定する際に、その案を公表し、それに対する市民などの意見を募集後、その意見等を考慮して意思決定を行い、皆さんの意見を市政に反映させる制度です。

この手続を実施することにより、市民の意見や要望を積極的に市政に反映させるとともに、透明で開かれた市政を目指し、市民に対する説明責任を果たす役割を担うこととなります。

日置市のまちづくりの基本理念である『地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり』を推進するため、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

パブリックコメント手続の流れ



火災や災害から 消防出初式

住民の生命と財産を守る



一月七日、県消防学校グラウンドで市として二回目となる消防出初式が行われ、消防団員や消防本部職員など約四百人が参加しました。

式では、宮路市長が「災害や火災から住民の生命や財産を守る消防活動の重要性を深く認識いただきながら、献身的な消防精神を堅持してほしい」と激励すると、門松昭雄消防団長が「地域住民の信頼と期待にこたえるために一層努力したい」と今年一年の決意を新たにしました。

その後、長年消防団活動に功績のあった団員の表彰、消防団と消防本部による規律訓練、救助訓練、放水演習などが行われました。



▲ 表彰を受ける元吉靖郎東市来方面団長

消防活動の功績を表彰

各種表彰(敬称略)

略称(東) 東市来方面団

(伊) 伊集院方面団

(日) 日吉方面団

(吹) 吹上方面団

【消防庁長官永年勤続功労章】

玉利幸治(伊) 原之園和美(伊)

【日本消防協会精績章】

元吉靖郎(東) 奥誠(東)

原之園和美(伊)

【日本消防協会功績章】

奥和則(東) 馬場口知治(東)

田淵耕作(東) 内田博昭(東)

北之園美幸(伊) 福永安裕(伊)

福留誠(伊) 東條信也(伊) 當

寺盛洋(伊) 中園進(伊) 吉永

勝(伊) 有村俊朗(伊) 永吉治

美(伊) 地頭江繁人(伊) 久保

勇人(伊) 東清剛(伊) 加治木



▲ 救助訓練



▲ 規律訓練

【県消防協会精績章】

宇田昇二(東) 福元利孝(伊)

鶴田耕人(伊) 松元薫(伊) 柿

内良次(伊) 飯屋久志(伊) 有

村公一(伊) 松下幹夫(伊) 今

中誠(日) 坂中正幸(日) 川畑

哲矢(日) 加藤健一(日) 野元

和春(日) 野元政博(日) 岩井

田睦男(日) 岩城修(吹) 原田

英宣(吹) 田中昌一(吹) 下窪

幸治(吹) 秋葉幸広(吹) 坂上

晃一(吹)

【県知事表彰40年勤続章】

北山幸二(東)

【県消防協会日置支部15年勤続章】

山下浩二(伊) 馬籠五雄(伊)

岩崎保浩(伊) 児島大志郎(伊)

【県知事表彰10年勤続章】および【市長表彰10年勤続章】

恒吉晴美(東) 東郷芳弘(東)

東浩史(東) 室之園博樹(東)

平松博幸(東) 西之園健一(伊)

遠矢和広(伊) 重留勝(伊) 上

奥健治(伊) 宮脇誠(日) 原口

正悟(日) 上原伸一(日) 満尾

哲行(日) 廣中輝樹(日) 遠矢

明人(吹) 池田日道(吹) 高田

利文(吹) 福田誠(吹)

【感謝状30年勤続者内助の功】

元吉まさ子(東) 奥民子(東)

【感謝状25年以上勤続退団者】

本村卓朗(伊) 竹内鉄郎(日)

有上孝好(吹) 切口四男(吹)

第20回鹿児島県地区対抗 女子駅伝競走大会

1月28日(日)早春の霧島市(国分・隼人)で、風もなくおだやかな気候の中、12地区対抗戦で女性の熱き戦いが繰り広げられました。

日置チームは、1区茶園が区間トップの走りでタスキをつなぎ、2区までは流れに乗って好走しました。その後、順位に変動がありましたが、選手は全員全力をつくし、前年度より1つ順位を上げ13年ぶりに第3位入賞を果たすことができました。

また、前年度タイムより1分24秒短縮し、1時間13分13秒でゴールしました。ご声援ありがとうございました。

出走選手(敬称略) ●新は新記録

- 1区 茶園美紗子(日置市伊集院町 鹿児島女子高等学校2年)区間1位
- 2区 岡元 祐子(日置市東市来町 鹿児島国際大学2年)区間2位
- 3区 松下真莉亜(いちき串木野市 市来中学校2年) 区間11位
- 4区 竹下 由乃(いちき串木野市 神村学園高等部3年)区間1位
- 5区 里中 寿里(いちき串木野市 神村学園高等部1年)区間1位 ●
- 6区 今村 佑美(日置市伊集院町 鹿児島国際大学4年)区間7位





ご存じですか? 住宅用火災警報器



住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。
住宅用火災警報器を設置していたため、火災を早く知ることができて、無事に避難できたという例が多くなっています。
自分の命を守るために、早急に住宅用火災警報器を設置することをお勧めします。



もう少し早く火災に気付いていたら

(事例)

午前5時30分ごろ、自営業の男性（69歳）方の1階から出火、4世代10人が同居する木造2階建て住宅を全焼した。

この火災で、火元男性の妻、祖母、娘婿、孫2人の計5人が逃げ遅れて亡くなり、孫1人が火傷を負った。

住宅用火災警報器のおかげで

(事例)

午後9時50分ごろ、1人暮らしの女性（60歳）方から出火、木造2階建て住宅を全焼した。

火元の女性は足が不自由であったが、住宅用火災警報器の警報音で目が覚め、自宅の電話から119番通報した後、自力で玄関まで移動して隣接住宅の家族によって救出された。

悪質訪問販売に要注意!!

(事例)

70歳代の男性宅に男性2名が訪れ、「住宅用火災警報器がありません」「回覧が回っているはずだ」「そのうち消防署から点検に来る」と言って強引に台所の壁に警報器1個を設置し19,900円を請求したため、契約書にサインし請求金額を支払った。

被害にあわないために、正しい情報と知識を身につけましょう。

早期に、適正な値段、適正な方法で設置することも悪質訪問販売を防ぐ最良の手段です。

住宅用火災警報器に関する情報は、最寄りの消防本部・消防署、各分遣所へお気軽にお尋ねください。

【お問い合わせ先】	日置市消防本部・消防署	099-272-0119
	北分遣所	099-274-0119
	南分遣所	099-299-3019

春の全国火災予防運動

3月1日～3月7日

『消さないで あなたの心の 注意の火』



3月1日から1週間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

不注意による火災が起こらないよう十分注意してください。



火をつけたままコンロから離れない

平成18年中 日置市の災害状況

火災

35件



救急

1,864件



救助

20件



消防 だより



日置市消防本部



火遊びをさせない



寝タバコをしない



家の回りに燃えやすい物を置かない



暖房器具の近くに洗濯物を干さない



北分遣所に消防車配備

平成十八年十一月、東市来支所内にある北分遣所に水を1・5トン積載したタンク車が導入されました。枯草火災等の初期には水利に着くことなく、すぐに放水できます。

また、救急現場に使用する資器材も積載されています。これを機会に消防業務の知識、技術の向上を図り、住民の期待に応えられるように積極的に努力してまいります。

イチゴ 『1月5日』にちなみ



イチゴ観光農園オープン!



▶イチゴ型のくす玉を割って開園を祝う片平さん(写真左)

お正月早々の一月五日、片平清美さん(上床自治会)のイチゴ農園で、観光イチゴ農園がオープンし、開園式が行われました。宮路高光市長や今年の三月で廃校となる皆田小学校の児童らによって、イチゴの形をしたクス玉を割り、開園を祝いました。片平さんは「イチゴ観光農園は今年で十三年目です。病害虫にも負けず順調に苗が育ち、安心・安全なイチゴができました。たくさんの人に甘いイチゴを味わってほしいです」とあいさつ。児童らは、甘い香りに包まれたハウス内で、真っ赤に色付いたイチゴを思い思いに摘み取っていました。



▲イチゴ摘みを楽しむ皆田小児童

三年生の大庭直哉君は「イチゴが大きく、甘くてとってもおいしかった。家族にも食べさせたい」と、うれしそうでした。

開園期間 五月末日まで
開園時間 午前十時～午後五時まで
片平農園 ☎二七四 六一八三

「命の尊さ」と「生きる」ことのすばらしさを学ぶ

いのち・ふれあい体験学習

十二月二十一日、上市来中学校の図書室で、三年生(十一人)を対象に、妊娠や育児に関する知識を理解し、命の尊さや思いやりの心を育てる「いのち・ふれあい体験学習」が行われました。生徒らは、保健師から妊娠と胎児の発育についての講話や笹川智子さん、西田玲奈さん、留盛直子さんから妊娠体験談を聞いたりしながら、生まれてきたことのすばらしさ、いのちの尊さを学びました。

また、妊婦の疑似体験をした銚之原智亮さんは「おなか重くて、動きにくかった。家族に妊婦がいたらサポートしたい」と話していました。



▶「妊婦の疑似体験」をする銚之原智亮さん



▲実際に赤ちゃんを抱いたり、妊婦さんのおなかをさわったりして「ふれあい体験」する生徒ら



ゆのもと保育所が移転新築オープン!



▲完成した園舎

ゆのもと保育所がこのほど移転新築し、一月二十四日、同所で落成式が行われました。湯之元第一地区土地区画整理事業に伴うもので、鉄骨造平屋建ての延べ床面積三六九・七五㎡、総事業費一億二千六百二十七万円。場所は、これまでの湯田小学校校跡前から、同校の西側でJR鹿兒島本線に沿った約二百坪のところへ移転しました。

落成式では記念公演が行われ、保育園児のおうぎや元ゆのもと保育所長の町田房雄さんによるマジックショーが披露されました。「自然環境の中でのびのびと明るく感性豊かな子どもを育てる」という保育理念に基づき、地域の児童福祉の向上が期待されます。



▶落成式での「園児おゆうぎ披露」

かごしま弁でふるさとの民話を楽しむ!

「ふるさとの民話の夕べ」

十二月二十二日、東市来図書館で、ふるさとに伝わる「民話やわらべうた」をかごしま弁で親しみ、地域の伝承文化を再認識しようとして、第二回「ふるさとの民話の夕べ」が開催されました。

参加者は、市内の小学生から大人までの四十五人。町田和子さんによる民話「前田利右エ門とからいも」の語りや福宿玲子さんによる「ブラックスシアター」「弁財天とおさず」などが披露されました。

また、市社会教育指導員外島順之助先生の指導のもと、参加者全員が輪になって「かごしまのわらべうた」を歌うなど、楽しい夕べを過ごしました。



▲町田さん(写真左)の語りに聞き入る参加者



▲輪になって「かごしまわらべうた」を歌う参加者

情報をお寄せください

昨年七月二十七日に完成した伊集院総合運動公園内チエスト小鶴ドームの看板除幕式が一月十三日行われました。また、式終了後にはチエスト小鶴ドーム杯ゲートボール大会も行われました。

チエスト小鶴ドーム看板除幕式



初日とともに走ろう

元旦の早朝、伊集院総合運動公園で初日とともに走ろうが行われ、参加者は運動公園内を周回するコースをそれぞれのペースで走り、初日が出ると立ち止まったり、今年一年の健康を祈ったりしていました。



チエスト館イチゴ狩り

甘いイチゴをどうぞ

一月三十一日、都市農村交流施設チエスト館のイチゴ観光農園に鹿児島市の玉里善き牧者幼稚園の園児ら約六十人が訪れ、イチゴ狩りを楽しみました。園児らは、イチゴの甘い香りに包まれたハウス内で、赤く色づいたイチゴを思い思いに摘んでいました。



日置市三二科学の祭典

～わくわく、どきどき、楽しい実験がいっぱい～

理数大好きモデル地域事業

一月二十八日、「日置市三二科学の祭典」が市中央公民館で行われ、会場には親子連れなど約八百人が訪れました。これは、平成十七年から指定を受けている文部科学省「理数大好きモデル地域事業」の一環で、市内小中学校・市教育委員会・鹿児島市立科学館・県立博物館・鹿児島大学などの連携のもと、地域の教育資源を活用して実施されたもの。当日は、市内小中学校の先生らが、磁石の上でコマを回転させる「空中で回転するコマ」や、風船とCDを利用した「ホバークラフトを作ろう」など十五種類の実験を披露。参加した子ども達は、各コーナーを回りながら驚いたり不思議そうに見つめたりして日頃体験できない科学実験を楽しんでいました。



恒例行事 団地のまとまり強く

防火訓練 守り隊出初式 ジョギング大会

妙円寺 団地

一月二十八日、妙円寺中央公園で妙円寺団地防火訓練・守り隊出初式・校区ジョギング大会が行われました。住宅の密集している団地で日ごろから防火意識を高め、初期消火の知識と技術を習得し、万一の災害発生に備えようと毎年行われています。訓練では、市消防本部職員から火災等に関する講話と消火器の取り扱いについて説明があり、参加者は実際に消火器を使用して消火訓練を行いました。また消防団中央分団妙円寺部による放水訓練も行われました。



▲ 消火器を使用した消火訓練



▶ 守り隊出初式



◀ 校区ジョギング大会

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」と平成十六年に発足し、団地内の防犯、安全確保を支えている「守り隊」。防火訓練に引き続き行われた式では、「守り隊」の帽子を着用した隊員が、防犯意識の高揚を図るため「エイエイオー」と掛け声をかけ、今年の決意を新たにしました。ジョギング大会には、団地内の小中学生が参加。妙円寺中央公園および団地周回コースで、小学生と中学生女子は二km、中学生男子は三・五kmの距離で行われました。



北小創立50周年記念式典

“そよかぜきた”創立五十周年

二月三日、伊集院北小学校の創立五十周年記念式典が同校体育館で行われました。同校は、昭和三十二年に東陽小・共進小・美山小の野田地区を統合し創設。当時は新校舎がなかったため、東陽小を本校、共進小を教場として、また野田地区の児童は美山小へ委託して授業が開始されました。始めに、上神殿棒踊り保存会による棒踊りで幕開け。式典では、学校長式辞、感謝状贈呈、

祝辞の後、児童を代表して六年生の山田竣平君が「記念文庫や記念 TENT をいただきました。僕たちが六十歳ぐらいになった五十年後も、そよかぜきたの合い言葉が受け継がれるようにしたいです」とお礼の言葉を述べました。式典後、家庭教育カウンセラーの内田玲子さんを講師に、「育てよう、子どもの心と明るい地域」という演題で講演会が行われました。

▶ 官路市長祝辞
▶ お礼の言葉を述べる山田竣平君

陶芸や生け花などで日吉文化を体験!

米国・大学ダンスチーム来日

アメリカ・ウィスコンシン州にある州立ウィスコンシン大学リバーフォールズ校のUWRFDダンスチーム(総数三十八人)の十二人が、狂言の鑑賞や日本舞踊の習得体験、伝統的文化財を含めた観光視察など、日本の伝統芸能や文化遺産などを学ぶため一月五日から十四日まで日本ツアーとして来日し、この期間中の二日間を日吉地域で過ごしました。

一行は、一月八日夕方長崎からせつぺとべひよし館に到着。その夜は、地元住民などウエルカムパーティーでダンスチームを歓迎。翌日は、日吉にある薩摩焼の窯元「日置南洲窯」で、薩摩焼の歴史などについて学んだ後、手ひねりやろくろ体験に挑戦しました。その後、せつぺとべひよし館に戻り「生け花」体験。講師の諏訪免順子先生から指導を受けながら、孟宗竹を

切って作った竹筒に松などを使いお正月飾りを生けるなど、日吉地域での文化体験を満喫しました。今回、日吉地域に滞在しての体験交流が行われたきっかけは、このダンスチームの一員である久保奈津美さんが、地元出身(日吉町日置)ということから実現したもので、久保さんは一人で通訳兼ガイド役として、忙しい中でとても輝いていました。



▲ 日本文化「生け花」を体験



▲ 日置南洲窯では薩摩焼の歴史について学びました

年越し稽古で気持ち新たに

稽古友会

十二月三十一日、日吉中学校体育館において、地元剣道愛好家で作る稽古友会(内村浩樹会長)恒例の年越し稽古が行なわれました。

稽古は、午後十一時から始まり、小・中学生や高校・大学生、一般までの男女四十一人と、地域を離れ正月休みで帰省してきた同会OBの方々が一堂に会し、気合の入った大きな声を出しながら練習に打ち込みました。

新年が明け、午前一時稽古が終了後、内村会長が「明けましておめでとうございます。みんなと新しい年を元気の姿で迎えられることを嬉しく思います」とあいさつ。また、吉利北区出身で教士七段の二石政彦先生からは子ども達に向けて、ご自身の体験談を交えて「目標を持って努力することが大切」と話がありました。子ども達も真剣に先生の話に聞き入っていました。

最後は、子ども達が楽しみな食事。保護者が準備したせんざいをおいしそうに食べ、体を温めて年越し稽古を終了しました。



春風を突き刺し「エイ」

練心館日置地区支部道場

全日本少林寺流空手道練心館の恒例行事になっている県下同寒げいが一月八日、鹿児島市の磯海水浴場で行われ、日置地区支部道場に通う門下生約四十人も参加しました。

始めに、空手着にはちまき姿の門下生たちが浜辺に一同に整列し、宗家保蔵さんから「空手道で培った力で社会を明るく照らし、世界の人人々に平和をもたらしてほしい」とあいさつ。

約四分の稽古の後は、保護者が準備したとん汁などを焼き火を囲みながら食べて、冷えた体を温めていました。

その後稽古が始まると、門下生は冷たい潮風を全身に受け、「エイ」と気合を入れながら基本の突きや蹴りをくりだしていました。しばらくすると、高校生以上の門下生は、上半身裸で冷たい海



豊作を願って生産者共同で種まき

市たばこ振興会日吉総代区

葉たばこの種まきが十一月十一日、日置市たばこ振興会日吉総代区の生産者(九戸)や下田平日吉支所長など関係者約三十人が参加し、生産者所有の育苗ハウスで行われました。

葉たばこの種は、一粒が一ミリほどでもないぐらいとても小さく、種をまく際には判りやすいようにシラスなどが混ぜられた白い土と一緒に苗箱にいていねにまいていきます。

育苗の底には、電熱線が張られ防霜と発芽が促進されるようになっていきます。この共同による種まき作業は、地域全体で品質の良い苗を作ること目標に、管理や効率率を含め長年実施しているものです。今後、苗が順調に成長し三月には植付けされ六月から七月にかけて収穫されます。



一年の抱負を胸に初日の出登山

笠ヶ野自治会

今年も元旦早朝、笠ヶ野自治会恒例の初日の出登山が実施され、飯牟礼地区矢筈子ども会など合わせて約五十人が、思い思いに初日に向かって一年の抱負を願っていました。今年の初日は、午前七時十九分ごろに出たあと、しばらくして雲の中へと隠れてしまいました。

初日の出スポットとして目指したのは、伊集院と日吉との境に位置する矢筈岳で標高三〇二・一九メートル。桜島をはじめ大隈半島や東シナ海など三六〇度見渡すことができま

す。

笠ヶ野自治会では、三十年ぐらいい前から矢筈岳初日の出登山が行われており、現在では初日を拝んだ後のイベントも飯牟礼地区の方々と一緒に実施されています。

イベントの進行役は両地域から毎年交互に決定され、今年飯牟礼地区から益満昭人さんが進行しました。まず全員で「君が代」を歌い、続いて一年の抱負をそれぞれ発表しました。その後、一年前に地中に埋めておいた焼酎で新年を祝っていました。



▶ 矢筈岳山頂から初日を拝む(左に見える山は「桜島」)



F杯フットサル大会

激しいゲーム展開で

好試合

第十回F杯フットサル大会が一月二十一日、吹上浜公園体育館で開かれました。大会には市内外から二十四チームが出場。リンクトーナメント式でF杯を競いました。ゲームは10分ハーフ。攻守が目まぐるしく入れ替わる激しいゲーム展開で、好試合が続きました。各パートの優勝は次のとおりです。

- Aパート FC saltar
Bパート Tie +



験のいい日に高値を願

葉たばこ共同種まき

平成十九年産葉たばこの種まきが一月十一日、中田尻の共同育苗施設でありました。二が三つ並んだ験のいい日に、耕作者や農協、農政関係者が今年の高値取引を願いながら、整然と並んだおよそ七百箱の苗箱に丹念に種をまきました。昨年より一戸減った生産農家九戸が作付する面積は約十八三畝。それをまかなう種はわずか一〇七畝で、一粒は土の粒子と見間違うほど小さなもの。発芽した苗は一月ほど施設で育てられ、一本ずつピンセットでポット苗へと移され、植え付けを待ちます。昨年は雨の多い不安定な気象で日照不足となり、不本意な結果となりました。「今年は市長さんも来てくれて、一緒にまいたからきつといい結果が出るに違いない」と生産農家は意気込んでいました。



災厄飛ばす火の粉と音

各所で鬼火たき

四百四病を焼き尽くすといわれる鬼火に、一年の無病息災や家内安全を祈る鬼火たきが一月七日から八日にかけて、吹上地域内各所で行われました。七日が強風のため、順延された上和田自治会では、川沿いに組まれた高さ十八メートルほどのやぐらに点火。役目を終えた正月飾りもろとも燃え盛る炎が夜空を焦がしました(写真)。竹が激しくはじける音と火の粉は災厄を払うともいわれ、今年の健康や安全を願う姿がみられました。傍らでは、準備したせんざいが振る舞われ、おき火で焼いた餅とともに舌鼓を打っていました。この鬼火たきは、毎年子ども会育成会が主催、青壮年で構成する上和田清流会の協力で行われています。



九州地区ジュニアバド強化合宿大会

九州の強豪 切磋琢磨

九州各県高校一、二位の男女選手が一堂に会する、九州地区ジュニアバドミントン強化合宿大会が一月四日から四日間、吹上浜公園体育館でありました。この合宿大会は、平成十七年に開催された九州選抜大会の際、吹上町施設利用促進協会による受入態勢が評価され実現したものです。「練習に集中できる施設と癒せる温泉が魅力」と指導者。「来季もここで」と、予約がありました。

「人」として生きることを学ぶ

吹上高校で人権教育講演会

吹上高校で、進行性筋萎縮症のため車椅子で生活しながらも、介護の仕事に従事している川崎良太さんを講師に1月24日、人権同和教育講演会がありました。

「幼稚園のころ、自分の体は友達と違うと考えるようになった」「小学校では歩ける友達がうらやましく思った」と振り返る川崎さん。「中学に進むと友達が介助してくれた」と同時に「自分から働きかけることも大切だと知った」と話し「人には個性があることを胸に留めれば偏見なく話せるはず」と訴えました。

生徒は、川崎さんの力強い講話に、人としての心のあり方を深く刻み込んだ様子でした。



四地区スポーツ少年団交流新春ソフトボール大会が1月8日、吹上浜公園で開催され、指宿や川辺地区などから32チームが参加、強い北風の中でどこよりも早い球春が訪れ、各コートで熱戦が展開されました。

吹上女子チームの強化を目的のひとつに始められた大会も今年で5年目。その節目を記念して昨夏、全国制覇を成し遂げた神村学園中等部女子ソフト部が公開練習を披露。始球式は伊作ソフト少年団出身の中野花菜さんが務め、場内を沸かせました。

吹上地域からは伊作、永吉両少年団が出場し、強豪チームと互角の試合を繰り広げました。

四地区交流新春ソフトボール大会 どこよりも早く球春



読み聞かせをプロがお手伝い

中央幼稚園と伊作小で

全国の子どもに本に親しんでもらおうと「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーが一月十一日、中央幼稚園を訪れました。車両は五五〇冊の絵本を積んだ移動図書館。園児は小春日和の園庭で、キャラバンカーを何度も行き来しながら、思い思いの本を広げては歓声をあげていました。

教室では専門のスタッフが絵本や紙芝居を読み聞かせ。園児は聞き漏らすまいと目を輝かせ、胸を躍らせました。伊作小学校二年一組は学級PTA活動として一月十八日、フリーアナウンサーの中村朋美さんを講師に、親子で「声の表情」を学びました。中村さんは「読み聞かせには声の温かみが大切」「感情を込めるには、多様な体験も必要」。その基本となる発声や読書の正しい姿勢を親子で練習しました。「あいさつの声にも表情があります。感情豊かな表現は家庭

から」と話しました。パソコンや電子ゲーム機全盛の今こそ、感情の通い合う読み聞かせが大切です。





ギョウワ 私の作品展 「押し花アート」

竹下 恭子さん(42歳) 東市来町長里

昨年から公民館講座「押し花講座」を受講。もともと花が好きで、押し花にも興味があって始めたのがきっかけです。押し花は、その花の種類によって押し方、加工の仕方が違うので難しいですが、とても奥が深く講師や講座生にひとつひとつ教わりながら取り組んでいます。今では散歩がてら季節の草花を探しに行くこともしばしば。自分がイメージしたとおりの作品に仕上がる時が一番嬉しいですね。これからは押し花に必要な道具を少しずつ揃えて自分でいろいろな作品に挑戦していきたいです。



ウォッチ まちの文化財 ②

小松帯刀の墓(日吉地域)

来年のNHK大河ドラマが、鹿児島と関係の深い「天璋院篤姫」に決定しました。このドラマで、重要な役として明治維新の功労者で薩摩藩家老の小松帯刀(1835～1870)が取り上げられます。帯刀は吉利(日吉地域南部)領主で、墓は吉利の園林寺跡にあります。

小松家は1595年から続いた吉利の領主で、園林寺跡は小松家の菩提寺です。明治の廃仏毀釈で廃寺になりましたが、代々の領主やその家族の墓が残っています。帯刀は、吉利の一般の人々と親しく交わり、善政を行ったことから「小松家の名君」と呼ばれたと伝えられています。

帯刀は早くからその実力を評価され重要な役職を務めました。内政では大久保利通らとともに藩の改革を行い、外交では公家や幕府、長州藩との交渉に活躍しました。こうした業績が認められ、28歳で家老に昇進しました。薩長同盟が京都の帯刀の屋敷で行われたのは、帯刀の大きな役割をあらわしています。明治政府でも重要な役職につきましたが、明治3年に病気で亡くなりました。36歳の早すぎる死でした。

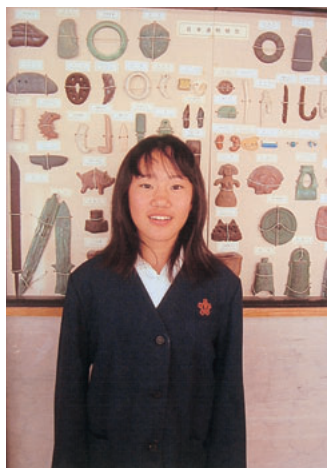
引用参考文献 『日吉町郷土史 上巻』



▲小松帯刀の墓(園林寺跡)

Access

本庁から車で20分、日吉支所から車で5分



私の将来の夢は、考古学を学んで、学者になることです。考古学とは、大昔の人々が残した生活のあとや物を調べて、そのころの暮らしや文化を研究する学問のことです。

ゆめ & チャレンジ

『大好き!考古学』

美山小学校六年 折田 有佳里さん

私は、三年生ぐらいのときから、昔の人の暮らしや文化にとても興味があったので、いろいろな展示会を見に行っています。エジプト展やナスカ展などです。上野原縄文の森に行ったときは、縄文人が食べたとされるおかしも食べました。今のおかしとはちがいが、味がとてもおいしいのびっくりました。六年生になって、学校で歴史の勉強が始まりました。昔の生活や文化に興味が出てきました。自分の目で見た体験したりすると、昔の人の気持ちや現在のちがいが、文化の素晴らしさがよく分かります。とても楽しいです。これからも、実際に自分の目で見て、昔の生活や文化などを勉強していくことを大切に、考古学者を目指したいと思います。

いきいき ひと

シリーズ②



本読み会で読み聞かせる本は、その季節にあつたもの、絵が大きく分かりやすいもの、教科書で取り扱われている作者の別の作品、学校で習っていることに関連しているものなどを考慮して選んでいます。また、体育館などの広い場所で大勢に読み聞かせる時は大型絵本を使ったりしています。毎年四月二十三日の「子ども読書の日」には、小学校の体育館で縦一〇×横八〇の手作り大型紙芝居や暗くした部屋で蛍光塗料を塗った絵人形を動かしながらお話をするブラックシアターにも取り組み、子ども達に楽しんでもらっています。

「私が小学生の頃、親に読んでもらった本が心に残っています。その本を見ると今でもその頃の思い出がよみがえります。この活動で一冊でも多くの本を読み聞かせることで、子ども達の心に残るようでしたら。そして、この活動を長く続けられたらいいですね」

本読み会で読み聞かせる本は、その季節にあつたもの、絵が大きく分かりやすいもの、教科書で取り扱われている作者の別の作品、学校で習っていることに関連しているものなどを考慮して選んでいます。また、体育館などの広い場所で大勢に読み聞かせる時は大型絵本を使ったりしています。毎年四月二十三日の「子ども読書の日」には、小学校の体育館で縦一〇×横八〇の手作り大型紙芝居や暗くした部屋で蛍光塗料を塗った絵人形を動かしながらお話をするブラックシアターにも取り組み、子ども達に楽しんでもらっています。

「私が小学生の頃、親に読んでもらった本が心に残っています。その本を見ると今でもその頃の思い出がよみがえります。この活動で一冊でも多くの本を読み聞かせることで、子ども達の心に残るようでしたら。そして、この活動を長く続けられたらいいですね」

読み聞かせで一冊でも多くの本が子ども達の心に残るように



木場 朱美さん [39歳]

伊集院町妙円寺(妙円寺二区自治会)

平成16年「本読み会がち」代表
平成17年妙円寺児童館「母親クラブ」会長

ロクサナ モンドラゴン



Roxana Mondradon さん



【伊集院地域 ALT】

はじめまして、ロクサナ・モンドラゴンです。アメリカのシカゴから来ました。日本ははじめてです。アメリカの大学で1年程日本語を勉強しました。でも日本語がまだ下手です。

私は伊集院地域のALTとして幼稚園と小・中学校で英語を教えています。英語を教える仕事ははじめてです。

この地域で、大変親切でいつも快く私を助けて下さる先生方と働くことができ、私はとても幸運だと思います。英語を教えることは容易ではないと今回の経験を通して学びました。

しかし、私が教えている生徒のみんなは本当にすばらしく、彼らのおかげで私はこの仕事が好きでしかたがありません。

ALTとして働く事はとても良い経験で、生徒のみなさんが私から英語を学ぶのと同じぐらい私もみなさんからたくさんの事を学んでいます。市の方々も私を受け入れ、いろいろ教えて下さったり、本当に親切にして下さいます。

ここで働き、日本の文化や人について学ぶ事をいつも楽しみにしています。

